

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会長 中武泰一郎
副会長 函師 義孝
幹事 藤本 範行
例会日 毎週木曜日 12:30~
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1718 回 平成 23 年 12 月 1 日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング | 8. BOX披露 |
| 国家、奉仕の理想 | 9. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 長峯 基

中部分区ガバナー補佐 林 務

2730 地区テーマ

とにかく「善いことをしよう。」

高鍋ロータリークラブテーマ

原点をみつめ「団結」「創造」「挑戦」

12 月の月間テーマ

家族月間

本日の例会案内

- *月初めのセレモニー（誕生祝 6 名、結婚祝 3 名）
- *外部卓話—竹原則夫様
- *米山ランチ

次週例会案内；12 月 8 日（1719 回）

- *クラブ協議会＝半期報告
- *血圧測定
- *終了後プログラム委員会

第 1717 回 例会内容

■会長の時間

会長 中武泰一郎君



東北大震災から 8 ヶ月が経過いたしました。復興・再生への道のりにはなかなか厳しい現実があるようです。

その一つが、がれきの処理問題です。その推計量は、約 2260 万トン。（内訳は、宮城が約 1590 万トン。福島が約 230 万トン・岩手が約 440 万トン）

これは、阪神・淡路大震災の 1.6 倍。全国の年間一般廃棄物総量の 2 分の 1 に相当する。市町村別では、岩手県の石巻市が最も多く約 616 万トン。

宮崎県でも、このがれき処理受け入れを拒否したようですが、明日は、我々が被災者になるかもしれません。改めて、この問題については考える必要があると思います。

ごみで思いだされるのが、昭和 40 年に起こりました「東京ゴミ戦争」でございます。

昭和 32 年ごろから、東京湾でゴミの埋め立て処分が

始まりましたが、昭和 40 年ごろには、東京 23 区の 7 割のゴミが埋め立て地で処分されていました。

一日約 9000 トン。毎日 5000 台以上のダンプが往来していました。当然環境が悪化。特に、大量のハエが発生いたしました。都は、タンクローリー 5 台分の重油を巻き焼き払いと大量の有機リン系の殺虫剤を散布。

しかし、これがかえって火に油を注ぐ結果となり、通常の 2 千倍という脅威的な薬剤抵抗力をもつハエが増える事になった。そこで、複数の殺虫剤を 1 年おきに変え、さらに土でゴミを覆うサンドイッチ作戦を行い効果を上げた。こうした中で、持ち上がったのが杉並区の清掃工場問題です。杉並区では清掃工場の建設をめぐる紛糾していた。反対派が、建設のための説明会会場に乱入に会が流会となる。このエゴにたいして、埋め立て地付近に住民が激怒。杉並区からのゴミ搬入を実力で阻止。杉並区では、3 日間ゴミ収集がされず約 2000 トンものゴミがあふれた。杉並区長が、建設を約束し事は収まったが、ゴミの処理に 10 日以上かかった。清掃工場が完成したのは騒動から 9 年後でした。現在では、さらにゴミの量が増えて、一部は世田谷区の清掃工場処理されている。現在の「夢の島」は、公園として整備され当時の面影は全くない。「夢の島」という地名は、悪いイメージを隠すために意図的に命名したと思う人が多いようですが、これは、戦前からの地名で、東京湾をゴミを埋め立てて、将来は、ハワイに匹敵する保養地にする考えが

あったようです。

東京都心で山といえば NHKが1925年にラジオ放送を開始した愛宕山が、(25.7m)有名ですが、「夢の島」は30mで、都心での最高峰となっております。文字通り、ちりも積もれば山となるでございます。

■幹事報告

幹事 藤本範行君

<文書案内>

- *RA委員長RA地区
代表より第3660地区
来日の件
日時 24年1月12日
18:30~20:30
場所 ホテル京セラ



- *11/19の地区クラブ奉仕研修セミナーで使用の「クラブ奉仕の原点を求めて」のデータ配信の件
- *国際奉仕・WC S (世界社会奉仕)活動調査の件
- *地区大会案内の一部変更の件
- *西都RC12月例会案内
12/6 クラブ協議会 12/13 クラブ協議会
12/20 年次総会 夜間例会 クリスマス家族会
12/27 年末特別休会
- *佐土原RC12月例会案内
12/7 会員卓話 12/14 年次総会 活動報告
12/21 夜間例会 懇親会 12/28 年末特別休会

■出席報告

出席リーダー 福本幸良君

出席状況

会員数	45名
出席会員数	33名
ホーム出席率	73.33%
前々回修正出席率	74.42%



■BOX披露

親睦活動担当 木浦亨英君

<ニコニコ・財団・米山BOX>
中武泰一郎君 母校久我山高校がラグビーとサッカーで全国大会出場を決めました。
どなたも同調いただけませんので一人で精一杯応援したいと思います。



永田英徳君 欠席が多くて申し訳ありません。
橋口清和君 職場訪問を欠席致しまして申し訳ございません。向山担当にはご苦勞をおかけしました。
結婚記念祝のおかえしとして。
坂田師通君 結婚記念日を祝っていただきありがとうございました。
野添勝久君 先週誕生日のお礼。先日明治記念館で中央能力開発協会の表彰を受け、久しぶりに東京の長女、次男夫婦、孫達に会えました。皆に感謝です。

■財団月間卓話

R財団委員長 岩切洋君



ロータリー財団の父 アーチ・クランプ

1912年~1913年にクリーブランドRCの会長を務め、1916年~1917年には6代目RI会長を歴任。

アーチ・クランプは貧しい少年時代を経て、米国オハイオ州クリーブランドで実業家として大をなした立志伝中の人物です。独学で学んだフルートでは、14年間クリーブランド交響楽団の団員として活躍もしました。

クリーブランド会長時代、アーチの周りの友人達は当時の彼をこう呼びました。「寝ても覚めてもロータリー」の人間であると。当時の会長のスピーチで、今後クラブが多くのごとができるように「非常時基金」を作ることを提案しました。「非常時基金」の提案は四年後のアトランタで「ロータリーが基金を作り、何か良いことをしようではないか」という形で再登場します。

各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第一次世界大戦中にアーチの夢が提起されたということは、アーチの理想の素晴らしさの証と言えます。第一次世界大戦のさなかにロータリー財団の原形が誕生したのです。

アーチ・クランプは「我々はこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです。」と述べております。

また、「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に碑銘をきざんでも、やがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしてもいつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘をきざむなら、そして、ロータリーの精神と、神を恐れ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、我々がきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」

1930年代には、大恐慌が世界中で影響を及ぼし始めました。その時財団は、最初の補助金を授与したのです。

財団の発展

1947年1月27日にポール・ハリスがイリノイ州シカゴの自宅で亡くなりました。70カ国以上30万人以上のロータリアンが彼の死を悼み、寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられるようになりました。財団は、ポール・ハリス記念基金を設け、ポールに敬意を表したいロータリアンに対して、財団寄付をお願いしました。その反響は実にすばらしく、翌年の7月までに、米貨130万ドル以上が寄付されました。

さらに、1957年に、ロータリー財団は財団の活動に寄

与した人々への感謝を示す手段として、ポール・ハリス・フェローの認証を開始しました。また、ご存じのように自ら、または第三者の名義で財団に米貨 1000 ドル（または相当額）を寄付すると、ポール・ハリス・フェローとして認証されます。保健、飢餓追放および人間性尊重プログラム（Health, Hunger and Humanity program-3-H）開発のための75周年記念基金（1979-80）の設置を決定しました。

3-H プログラムの目的は国際間の理解、親善及び平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的向上発展を図ることです。ロータリーは個人奉仕から一歩踏み出して、新しい道を歩み出しました。この3-Hプログラムから、ポリオ・プラス・プログラムやロータリー・ボランティア・プログラムが生まれました。

ロータリー財団の奉仕活動が大幅に増え続けている中、ロータリアンは手続きの簡素化を望むと同時に自分たちの奉仕の成果をもっと確実なものにしたいと求めるようになりました。

財団のプログラムは、このロータリアンの望みに応え、変わりゆく世界のニーズに対応すべく進化を遂げていく必要があります。

Ri 理事会は、2008年6月の会合で、ロータリー財団の未来の夢計画を承認しました。未来の夢計画の新たな補助金構成の下で、私たちはこのニーズに応じていくことができるかと確信しています。なお、この夢計画はロータリー財団が2017年に100周年を迎えることを踏まえての計画であります。

以上で卓話を終わりますが、財団は皆様からの熱い思いのこもった寄付により運営されておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか



米山奨学金の授受



奨学生 汪南雁さん



茂木 晃 君



SAAの桑野倫夫君

ロータリー米山記念奨学事業

1 奨学生ってどんな人？

日本で学ぶ私費外国人留学生在が対象です。採用数は年間800人と民間最大、これまでに、120の国と地域から16,389人を支援しています。前駐日韓国大使として日韓交流に尽力した權哲賢氏も、その一人です。

中国	90.2%
台湾	20.1%
韓国	23.9%

2 なぜ外国人留学生を支援するの？

1952年、日本のロータリーの父、故・米山梅吉氏の功績を記念するために東京RCが構想を立案したのは、外国人留学生への奨学事業でした。

将来、母国の国づくりを担う留学生たちに、本場の日本を知ってもらい、少なくとも、日本への温かい感情を持って巣立ってもらい、世界に「知日派」を増やすことは、日本の発展のみならず、世界の平和につながる、かけがえのない事業です。

3 米山奨学事業へのご協力をお願いします

ロータリー米山記念奨学事業は、皆さまからのご寄付だけで支えられています。年間800人を支援するためには14億5,000万円が必要です。

寄付金は全額、奨学事業に使われます！

事業費のうち奨学金に86%、地区や世話クラブへの補助費が6%、学友ホームカミングはから%、奨学事業に関わる事務関係人件費3%、管理費は科学入で補っています。

財団状況や支出の経緯を公開しています！

寄付をすることでこんなメリットが！

- 年間2,000円以上で税制優遇
- 普通寄付にも税制優遇
- 世界の人材を育てる。国益増進に

ロータリー米山記念奨学

米山記念館の ポスター

アクトクラブの軽トラ市協力をお願い